

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム 関東甲信越営業チーム 中部営業チーム	TEL (087) 825-3632 TEL (087) 806-3660 TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3695 FAX (087) 825-3645 FAX (087) 825-3646
西日本営業 グループ	近畿営業チーム 中四国営業チーム 九州営業チーム	TEL (087) 825-3623 TEL (087) 825-3624 TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3647 FAX (087) 825-3648 FAX (087) 825-3649
特需営業 グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

アームハング棚柱 施工・取扱説明書

施工される方へ

- 施工前に製品をよくお確かめください。
- 品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社販売員まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換・補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

お施主様へ

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
(※2) 物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意



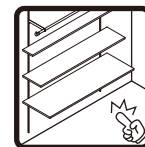
● 棚板の上に乗らない。

棚板の上に乗らないでください。
破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。



● パイプにぶらさがらない。

パイプにぶらさがらないでください。
破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。



● 部品が確実に取り付けられているか確認。

部品が確実に取り付けられていることを確認してください。取り付けが不十分な場合、部品・収納物が落下してケガをするおそれがあります。



● 耐荷重の目安値よりも重いものを収納しない。

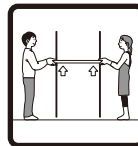
重量物を収納すると棚板が破損・落下し、ケガをするおそれがあります。
(「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



● 製品に直接に水をかけない。

表面化粧のはがれや反りの原因となります。



● 棚板の可動は一人では行なわない。

棚板のレイアウトを変更する時は、1人で
行わず安全のため2人で抜け止めを手
前に引きながら行って下さい。

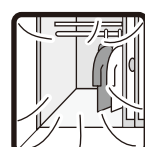
お手入れについて

日常のお手入れについて。



クロームメッキ製品は市販のクリーナーを使用して乾いた柔らかい布でお手入れしてください。但し有機溶剤や研磨剤の入ったものは錆び、剥離の原因となります。

換気をしてください。



収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行ってください。

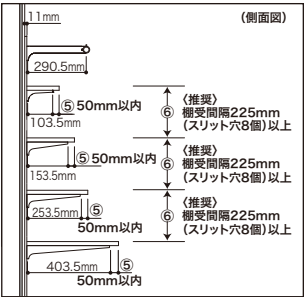
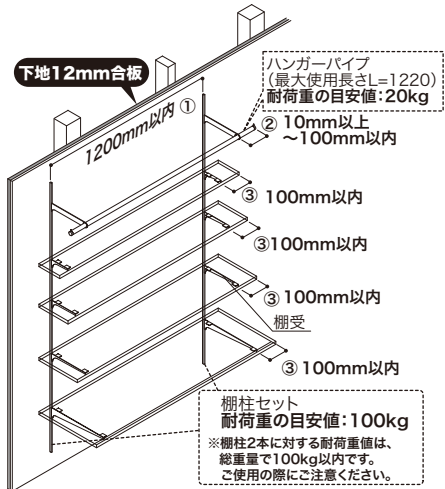
施工前の確認・耐荷重の目安値

注意 下地条件 施工する壁面に必ず下地合板(12mm厚以上)もしくは、それと同等以上の壁補強を行なってください。

本製品は基本的に重量物を収納するために設計されておりません。耐荷重値以内の収納物であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けください。

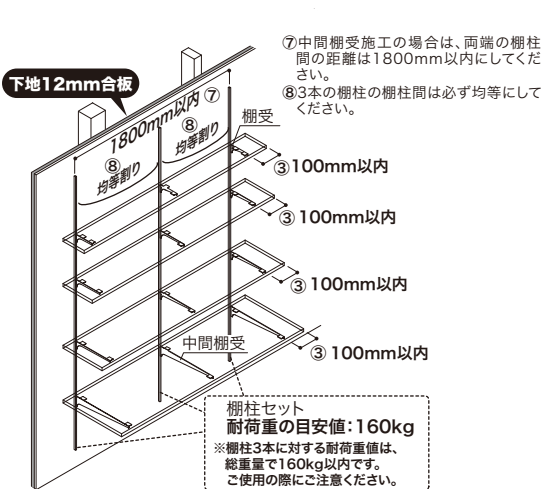
- ハンガーパイプの耐荷重値はパイプ受金具2本に対してパイプ1本を取り付けた場合の数値です。
- 記載の耐荷重値は等分布荷重の場合の数値です。また、棚板についてはアートランバー(弊社製品)を使用した場合の計測結果をもとにしてあります。それ以外の条件にてご使用の場合はこの限りではありません。

■中間棚受を使用しない場合(棚柱2本で施工)



- ① 中間棚受を使用しない場合は、棚柱間の距離は1200mm以内にしてください。
- ② ハンガーパイプの端からパイプ受金具(棚柱位置)までは10mm以上~100mm以内になるように設定してください。
- ③ 棚板の端から棚板受金具(棚柱位置)までは100mm以内になるように設定してください。
- ④ 棚板にアートランバー(弊社製品)を使用する場合、棚厚は20・27mmにすることを推奨します。
- ⑤ 棚板の奥行は棚板受金具寸法+50mm以内にしてください。
- ⑥ 棚受の上下間隔は225mm(スリット穴8個)以上であることをおすすめします。

■中間棚受を使用する場合(棚柱3本で施工)



下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

		耐荷重の目安値		
パーツ	厚さ×幅	15×910	20×1400	27×1400
棚板	奥行	150	使用不可	5kg
		200	10kg	10kg
		300	10kg	10kg
		450	10kg	15kg
パーツ	径×長さ	φ25×1220		
ハンガーパイプ	奥行	300	20kg	

下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

		耐荷重の目安値	
パーツ	厚さ×幅	20×1810	27×1810
棚板	奥行	150	10kg
		200	20kg
		300	20kg
		450	30kg

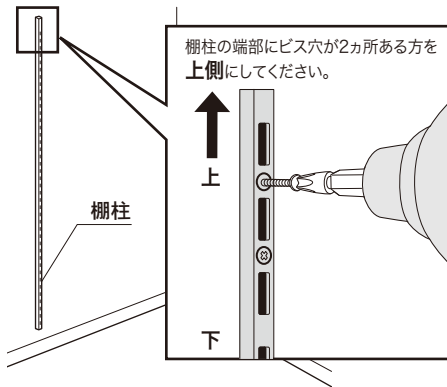
詳細図・部材セット明細

棚柱	正面図		棚柱		上面図		棚柱用ビス		
							L=600	L=1200	L=1820
棚受	棚受		ビスL=16		コーナーパット		中間棚受		ビスL=16
パイプ	パイプ		パイプエンド		パイプ受金具				
棚柱エンド	エンド		ビスL=50		棚板用ピン		棚板押さえ		

棚柱の施工手順

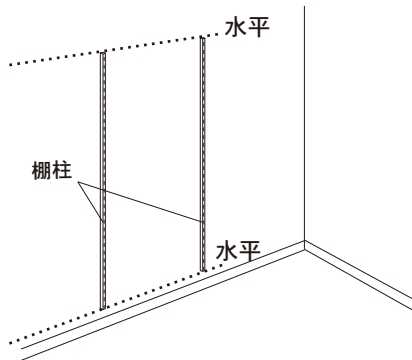
① 棚柱（1本目）の取り付け

墨だし後、「棚柱」を同梱のビスで取り付けてください。
ビス穴にはビスを全て取り付けてください。



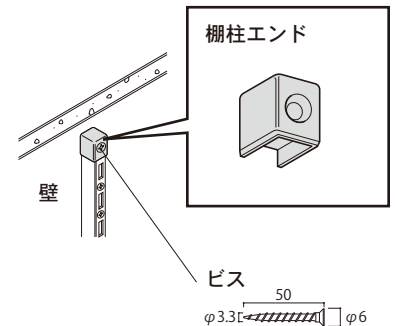
② 棚柱（2本目以降）の取り付け

最初に取り付けた「棚柱」と2本目以降の「棚柱」が水平になるように取り付けてください。



③ 棚柱エンドの取り付け

「棚柱エンド」を「棚柱」に同梱のビスで取り付けてください。
※棚柱エンドを注文された場合のみ。

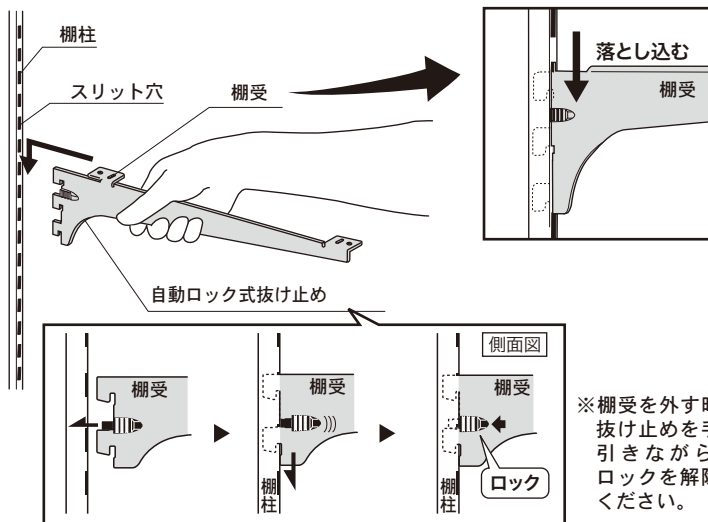


棚受の施工手順

※図は棚受になっていますが、中間棚受の場合も同様です。

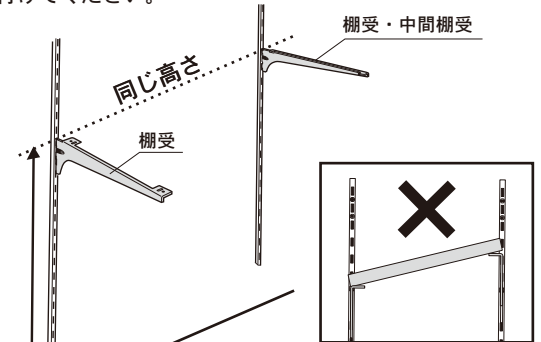
① 棚受（1本目）の取り付け

「棚柱」のスリット穴に「棚受」を差し込み、爪部をしっかりと落とし込んでください。



② 棚受（2本目以降）の取り付け

取り付けた「棚受」と必ず同じ高さになるように、2本目以降の「棚受・中間棚受」を①と同様に取り付けてください。



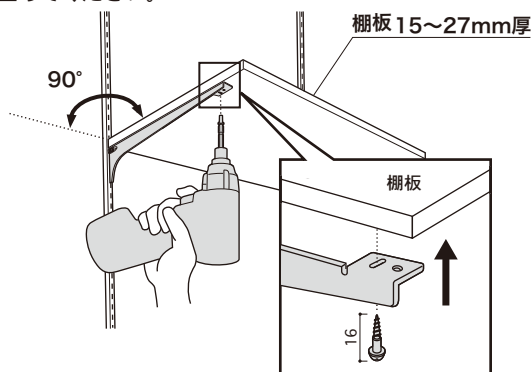
ご注意

段差がないように取り付けてください。

棚板の施工手順

棚板の固定

「棚受」の上に「棚板」を載せて、同梱の棚受用ビスで止めてください。



ご注意

- 取り付けの際、「棚受」「棚板」の落下にご注意ください。
- ビスの締めすぎにご注意ください。

棚板の移動

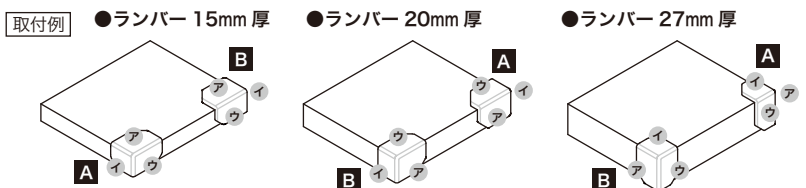
棚板の位置を変える時に、棚受の爪部が入りにくい場合は、棚受のビスを少しゆるめてください。

■棚板角を保護する場合

安全性の向上や使用用途にあわせ、必要に応じて棚板に「コーナーパッド」を両面テープで取り付けてください。

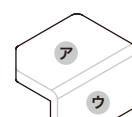
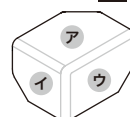
ご注意 対応棚板厚: 15mm、20mm、27mmのみ。

突き出した棚板の角にあたってケガをするのを防ぎます。
取り付け方向を変えると以下の3サイズの棚厚に対応します。
付属の両面粘着シールで下図を参考に貼り付けてください。



「コーナーパッド」セット内容（棚受1セット分）

コーナーパッド **A** ×1 コーナーパッド **B** ×1 両面粘着シール×4 面分



※ **A** **ウ** 部分の裏に貼ってください。

ダボ穴加工した棚板の施工手順

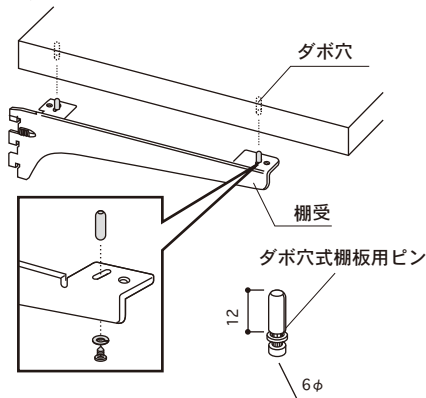
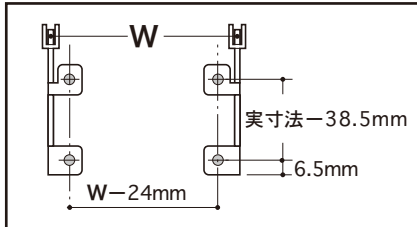
① ダボ穴式棚板ピンの取り付け

事前に下記の寸法図を参考に棚板にダボ穴を開けます。

※ダボ穴の径・高さは、下記「ダボ穴式棚板用ピン」のサイズを参考に加工を行なってください。

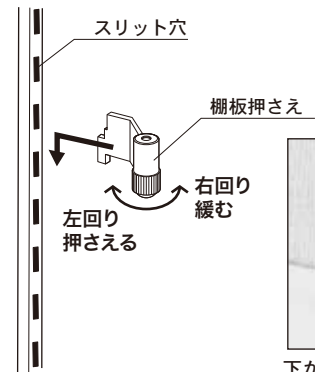
「棚受」に「ダボ穴式棚板用ピン」を取り付けます。ピンにしっかりと入るようにして棚板を取り付けてください。

棚板簡易固定用ダボかしめ加工および
ダボ穴位置寸法図



② 棚板押さえの取り付け

棚板のはずれ防止のために、必要に応じて棚板押さえを取り付けてください。



下からの衝撃で棚板が落ちないように止めます。

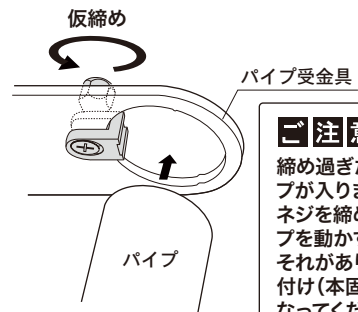
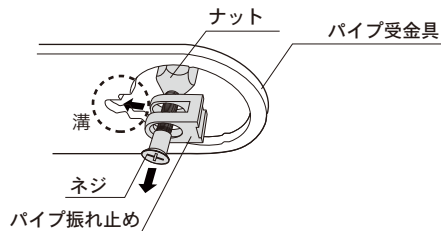
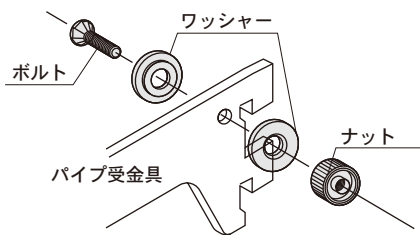
ハンガーパイプの施工手順

① パイプ受金具と振れ止めの取り付け

(1) 「パイプ受金具」の棚柱固定側にある穴に合わせて、「受振れ止め」のワッシャーを両側から設置し、ボルトとナットで挟み込むように固定します。

(2) 「パイプ振れ止め」のネジ部を緩めて、「パイプ受金具」の溝に差し込んでください。
(ネジとナットは外さないでください)

(3) ナットを仮締めした状態でパイプを「パイプ受金具」に通します。



【注意】

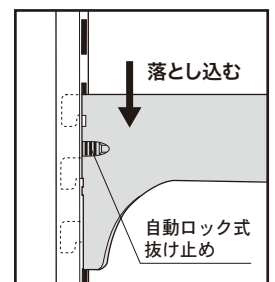
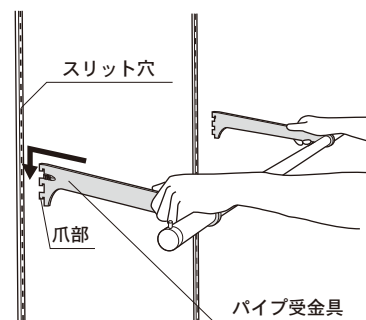
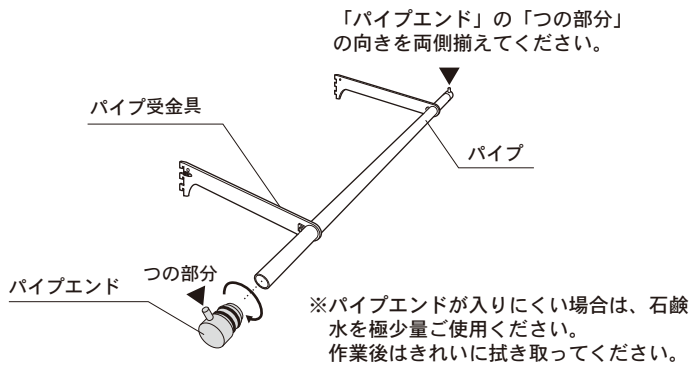
締め過ぎた状態ではパイプが入りません。ネジを締めた状態でパイプを動かすと傷が付くおそれがありますので締め付け(本固定)は最後に行なってください。

② パイプ受金具とパイプの取り付け

「パイプ受金具」にパイプを通した後、「パイプエンド」を取り付けます。

③ 棚柱への取り付け

「パイプ受金具」の先端部の幅を棚柱に合わせます。棚柱のスリット穴に「パイプ受金具」を差し込み、左右の高さが同じであることを確認し、爪部をしっかりと落とし込んでください。



④ パイプの固定

パイプの左右のバランスを合わせて①で取り付けした「振れ止め」のネジをドライバーで締め付けて固定してください。(本固定)

